

入生田菌類誌資料 No.003

クサイチゴの褐斑病菌

Septoria rubi Westend.

宿主：クサイチゴ *Rubus hirsutus* Thunb.

子囊菌門 Ascomycota チャワソタケ亜門 Pezizomycotina クロイボタケ綱 Dothideomycetes
 クロイボタケ綱 Dothideomycetidae カプノジウム目 Capnodiales コタマカビ科 Mycosphaerellaceae

供試標本

KPM-NC0017409, 2010年5月27日, 入生田吾性沢下流, 佐々木シゲ子採集.

肉眼的特徴

葉の表に赤褐色から暗褐色の円形の斑点症状が多数生じる。しだいに病斑の中心は灰白色になり、その中に暗褐色から黒色の小点(分生子殻)が散生する。

顕微鏡的特徴

分生子殻は、70-75 × 55-66 μm、殻壁は褐色を呈する。頭部が開口し、多くの分生子が現れる。分生子は、28-53 × 1.7-1.9 μm、やや弓なりに曲がり、両端は先端に向かって細くなりその先は鋭頭となる；4から6の隔壁があり、無色透明である。

ノート

分生子殻は頭部が開口していないと実体顕微鏡下でも確認しにくい。

文献

岸 國平編, 1998. 日本植物病害大事典. p.781. 全国農村教育協会, 東京.

Kobayashi, T., 1977. Fungi parasitic to woody plants in Yaku Island, Southern Kyusyu, Japan. 林業試験場研究報告, **292**: 1-25.

小林享夫・勝本 謙・我孫子和雄・阿部恭久・柿島 眞編, 1992. 植物病原菌類図説. p.402. 全国農村教育協会, 東京.

沢田兼吉, 1958. 東北地方菌類調査報告(IV)不完全菌類. 林業試験場研究報告, **105**: 35-140.

担当：佐々木シゲ子
 監修：小林享夫



図1. 葉表の病徴.

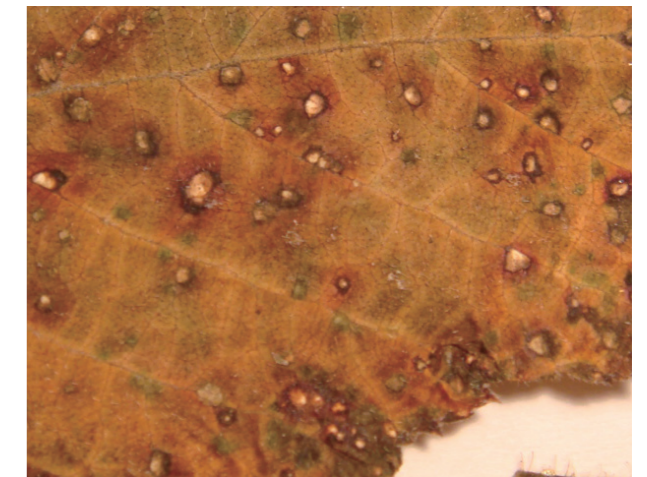


図2. 病斑(拡大).



図3. 分生子殻の断面. bar: 25 μm.

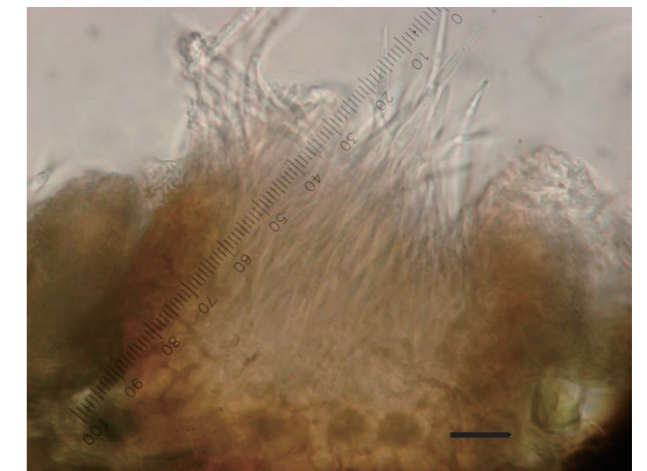


図4. 分生子殻から散出する分生子. bar: 10 μm.

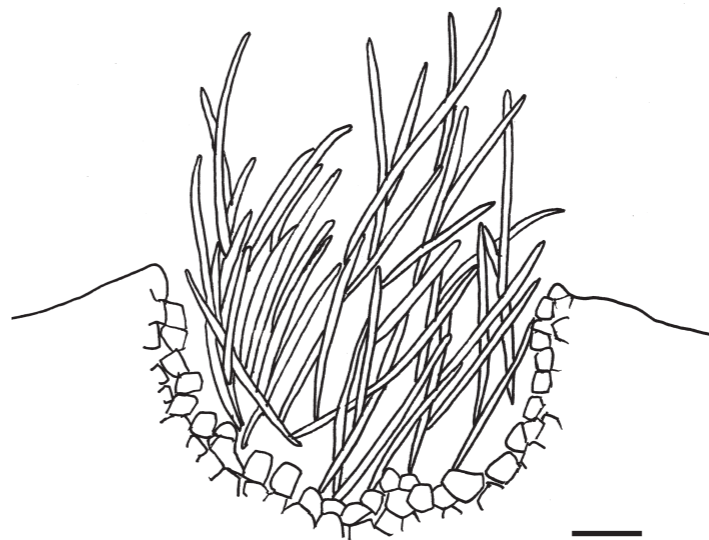


図5. 分生子殻から散出する分生子. bar: 10 μm.



図6. 隔壁のある分生子. bar: 10 μm.

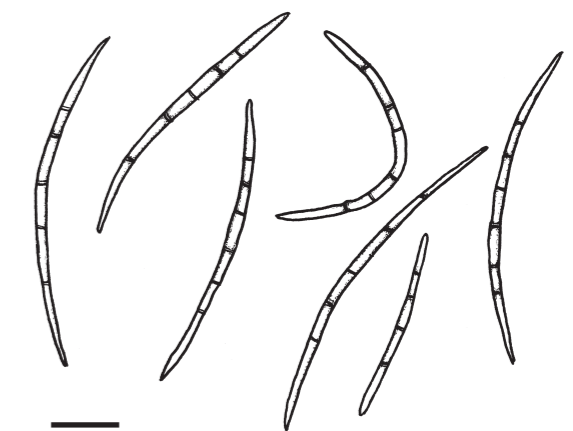


図7. 隔壁のある分生子. bar: 10 μm.